

問1 明治政府において、初代の内務大臣にあたる官職に就き、殖産興業を推進した役職を何という？

1. 内務卿 2. 太政大臣 3. 参議 4. 右大臣

問2 明治政府が掲げた、経済を発展させて軍隊を強化するという政策のスローガンを何という？

1. 文明開化 2. 廃藩置県 3. 富国強兵 4. 殖産興業

問3 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度を発布した年はいつ？

1. 1874 2. 1872 3. 1873 4. 1871

問4 大政奉還や王政復古の大号令の後、新政府軍と旧幕府軍が激突した戦いを何という？

1. 会津戦争 2. 箱館戦争 3. 上野戦争 4. 鳥羽・伏見の戦い

問5 明治維新の初期、1868年に京都近郊で新政府軍と旧幕府軍が激突し、内戦のきっかけとなった戦いを何という？

1. 鳥羽・伏見の戦い 2. 会津戦争 3. 箱館戦争 4. 上野戦争

問6 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣することで地方支配を強化した明治政府の政策を何という？

1. 版籍奉還 2. 廃藩置県 3. 徴兵令 4. 地租改正

問7 幕末から明治時代にかけて、『学問のすゝめ』を著して欧米の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家は誰？

1. 渋沢栄一 2. 津田梅子 3. 新渡戸稲造 4. 福沢諭吉

問8 欧米諸国に並ぶ国力を養うために明治政府が掲げた、国力を高める政策の合言葉を何という？

1. 文明開化 2. 廃藩置県 3. 富国強兵 4. 殖産興業

問9 1871年、明治政府が近代制度を学ぶために欧米へ派遣した使節団を何という？

1. 岩倉使節団 2. 遣唐使 3. 遣明船 4. 天正遣欧使節

問10 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返したことを何という？

1. 王政復古 2. 版籍奉還 3. 大政奉還 4. 廃藩置県

問11 明治天皇が神に誓う形式で「五箇条の御誓文」を発表した年は何年？

1. 1869年 2. 1868年 3. 1871年 4. 1867年

問12 明治政府の徴兵制において、兵役の義務の対象となった男子の年齢は満何歳？

1. 18歳 2. 30歳 3. 25歳 4. 20歳

問13 明治政府の新しい政策や税制度に対して、不満を持った農民たちが集団で起こした反乱や抵抗運動を何という？

1. 一揆 2. 打ちこわし 3. 強訴 4. 逃散

問14 1867年、江戸幕府第15代将軍として政権を朝廷に返上した人物は誰？

1. 徳川家慶 2. 徳川慶喜 3. 徳川家茂 4. 徳川家定

問15 大政奉還の直後、天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した命令を何という？

1. 大政奉還 2. 五箇条の御誓文 3. 廃藩置県 4. 王政復古の大号令

問16 学制において、学校教育を受ける対象とされた人々を指す言葉は？

1. 旧士族のみ 2. 男子のみ 3. 男女すべて 4. 華族のみ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 内務卿	1873年に設置された内務省の長官を内務卿と呼びます。初代の内務卿には大久保利通が就任し、殖産興業政策を強力に推進しました。このポストは後の内閣制度における内務大臣へと引き継がれました。
問2	答え 3 富国強兵	富国強兵とは、産業を育成して経済を豊かにし（富国）、軍備を拡張して防衛力を高める（強兵）という政策です。殖産興業による工場の建設や、徴兵令による軍隊の近代化がこの方針の下で進められました。
問3	答え 2 1872	1872年、政府は全国的な学校制度である「学制」を発布しました。この制度により、身分に関わらずすべての子供が教育を受ける機会を得ることを目指しました。
問4	答え 4 鳥羽・伏見の戦い	1868年1月、京都南郊の鳥羽・伏見で両軍が衝突しました。軍事力では勝と思われた幕府軍でしたが、薩長軍が掲げた天皇の象徴である「錦の御旗」により、新政府側が官軍と認定され、幕府軍は賊軍として敗走しました。
問5	答え 1 鳥羽・伏見の戦い	1868年1月、京都南部の鳥羽・伏見で旧幕府軍と新政府軍が衝突しました。圧倒的な兵力を持つ幕府軍に対し、新政府軍は「錦の御旗（にしきのみはた）」を掲げて戦い、官軍としての正当性を主張しました。結果として旧幕府軍が敗走し、徳川慶喜は江戸へ退却しました。
問6	答え 2 廃藩置県	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。全国の藩を廃止して府や県に改め、中央から政府が選んだ官吏である知事を派遣することで、国家による直接統治を実現しました。
問7	答え 4 福沢諭吉	福沢諭吉は幕府の使節団として欧米を視察し、そこで学んだ近代的な考え方を日本に広めました。代表作『学問のすゝめ』では、身分にとらわれず、実学を学ぶことの重要性を説いています。また、慶應義塾を創設し、数多くの人材を育成しました。
問8	答え 3 富国強兵	明治政府は「富国強兵」を国家の基本政策に掲げました。経済面では殖産興業を進めて資本主義の土台を作り、軍事面では徴兵令などを通じて近代的な軍隊を創設しました。
問9	答え 1 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を全権大使とし、大久保利通や伊藤博文らが参加しました。一行はアメリカを経てヨーロッパ各国を回り、工場や議会、教育制度などを視察しました。日本が近代化するために必要な多くの知識を持ち帰りました。
問10	答え 3 大政奉還	1867年、江戸幕府第15代将軍・徳川慶喜は、朝廷に対して政権を返上しました。これにより260年以上続いた江戸幕府は終わりを迎えました。慶喜は政権を返上することで、天皇を中心とした新しい政府の中でも自身の政治的地位を維持しようとする狙いもありました。
問11	答え 2 1868年	1868年、明治天皇が神々に誓う形式で「五箇条の御誓文」が発表されました。ここには、身分を問わず広く会議を興すこと、知識を世界に求めることなど、新しい近代国家の目指すべき姿勢が示されています。
問12	答え 4 20歳	1873年の徴兵令により、満20歳になった男子に対して兵役の義務が課されました。これにより、それまでの武士の特権であった軍事活動が国民全体に広げられました。
問13	答え 1 一揆	これらの急激な社会変革に対し、農民たちは「一揆」を起こして学校を焼き払ったり、役所を襲撃したりして不満を表明しました。特に新制度導入直後の混乱期には、各地でこうした抵抗運動が多発しました。
問14	答え 2 徳川慶喜	徳川慶喜は、政権を朝廷に返上することで徳川家を中心とした新たな政治体制を築こうと画策し、1867年に大政奉還を断行しました。これにより約260年続いた江戸幕府は終焉を迎えました。
問15	答え 4 王政復古の大号令	1867年12月、薩長などの倒幕派が天皇の権威を背景に発したのが「王政復古の大号令」です。これにより、将軍職の廃止と天皇中心の新政府の樹立が宣言され、徳川家による支配が完全に終わりました。
問16	答え 3 男女すべて	1872年に発布された学制では、6歳以上の男女すべてが小学校に通うことを原則としました。これにより、封建的な身分制の枠を超え、国家の構成員としての国民を育成する方針が示されました。